

伊万里警察署協議会開催結果の概要

令和7年12月12日

会 議	令和7年度 第2回 伊万里警察署協議会
開催日時	令和7年11月20日（木）15：00～16：50
開催場所	伊万里警察署 会議室
出席者	○ 公安委員会：1名 ○ 協議会：会長以下8名 ○ 警察署：署長以下9名 計18名
議 事 概 要	
<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 我々、警察署協議会は、警察署の業務運営に民意を反映させることを目的として設けられた機関であります。従いまして我々には、警察署長からの諮問に応ずるとともに、署長に対して意見を述べるという任務があります。 本日は、警察署長からの諮問を受ける予定としています。本年もSNSを使った投資詐欺やロマンス詐欺が多発し、私も、日々発生する特殊詐欺事件を1件でも防止するための対策が喫緊の課題であると思っています。地域の安全と安心は、地域と警察が連携をとってこそ、確保できるものと考えていますので、本日は、皆様方の忌憚のないご意見を賜りたいと考えています。</p> <p>3 署長挨拶 皆様には、平素から伊万里警察署の業務運営に対し、貴重な御意見をいただき、心から感謝申し上げます。 さて、今年に入り佐賀県内ではニセ電話詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺により20億円を超える被害が発生しており、伊万里警察署管内でも30件以上が発生し、被害額は、1億円に迫る勢いで、ニセ電話詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺などの特殊詐欺事件の防止が喫緊の課題になっています。 これから年末・年始に向かい、人の流れが活発になり、事件や事故の発生が懸念されるところです。署員一同「地域住民の期待に応え、地域の安全安心を守ることを」を日頃から肝に銘じ、真に住民の皆様の信頼に応えるために活動していますが、安全で安心な地域を達成するためには、地域の代表である委員の皆様及び地域社会のお力添えが必要不可欠です。 それぞれの分野で御活躍されておられる皆様には、本協議会を通じ、伊万里警察署管内が安全で安心な地域となりますよう、御尽力いただくことを切にお願いします。</p> <p>4 警察業務推進状況</p>	

(1) 業務概況

- ア 警務課長 ～ 警察相談受理状況、被害者支援対策、各種取組（現場執行力の強化、健康維持）、新人警察官の紹介
- イ 生活安全課長 ～ 少年事件検挙状況、少年補導状況、主な生活安全関係特別法犯検挙状況、ニセ電話詐欺発生状況、人身安全関連事案への対応、犯罪抑止関係
- ウ 地域課長 ～ 110番通報受理状況、各種訓練、競技会、広報活動
- エ 刑事課長 ～ 刑法犯認知・検挙状況、薬物犯・暴力団犯罪検挙状況
- オ 交通係長 ～ 人身交通事故発生状況、運転免許保有状況、交通違反取締り状況
- カ 警備課長 ～ 各種取組（災害への備え、経済安全保障、テロの未然防止、北朝鮮による拉致容疑事案等）

(2) 質疑応答・要望等

委員： ニセ詐欺等の被害者は、なぜ何度も被害に遭うのか。

警察： 昨年の統計結果によると、被害者の約7割が手口を知らなかったことが分かっている。自分が被害に遭うことはないと思い込んでいる方が多く、警察に被害の届出をする前に複数回被害に遭っている方もいる。

委員： ニセ電話詐欺の被害状況について、固定電話とスマートフォンではどちらが多いか。

警察： スマートフォンに電話がかかってきてからの被害が多い。

委員： 唐津のケーブルテレビが唐津警察署と協力して防犯カメラの設置活動を行っているが、これは唐津地区だけで終わらず、他の市町村でも取り組むべきであり、警察がリードして佐賀県内全域で防犯カメラ設置の呼びかけをしてはどうか。

警察： 警察本部において、全市町を訪問し、防犯カメラ設置の申し入れを行っているところである。

委員： 若い方は、新聞を取っていない方も多いと聞くので、街頭で横断幕を貼り、詐欺被害防止を呼びかければ若い方の目にも止まると思う。また、伊万里市で外国人を被疑者とする強盗殺人事件が発生したが、伊万里署管内にはどの国籍の居住者が多いのか。さらに外国人を被疑者とする犯罪は他にも発生しているか。

警察： 管内には約1,100人の他国籍の方が居住しており、インドネシアやベトナム国籍の方が多くと把握している。外国人を被疑者とする犯罪も発生しているが、管内居住者による犯罪は多くない。

5 協議

(1) 諮問

署長が「地域住民を詐欺被害から守るための取組について」を諮問

(2) 諮問に対する協議

委員： これをすれば被害を防げるといった特効薬はないが、あらゆるツールを活用して継続的に広報啓発を行っていく必要がある。また、伊万里・有田でも発生している身近な犯罪であることを伝えることが大切だと思う。

委員： ニセ電話詐欺防止啓発ポスターコンクールを行えば、作成する学生等は自らニセ電話詐欺について学習し、また、自宅で作成していれば、作成風景を見た家族にもニセ電話詐欺について知る機会を与えることができる。

委員： 交番・駐在所が広報紙を出しているが、読んでいない方が多いと思うので、読んでもらうための工夫が必要だと思う。また、スピーカー付きの車両でニセ電話詐欺防止を呼びかけながら住宅街を回るのも効果的だと思う。

警察： 広報紙は先月から、情報量を少なくして見やすい内容となるよう改善を図っているところであるが、さらに見やすいものとなるように工夫を凝らしていく。

委員： 警察官から連絡があれば、慌ててしまい冷静な判断ができなくなり騙されてしまいやすいと思うので、警察官は絶対に金銭の要求などをしないということをしっかりと広報すべきである。

委員： 交通事故シミュレーターのようにニセ電話詐欺被害についても疑似体験を行うことができれば、予測能力を身につけることができると思うので、ニセ電話詐欺被害を疑似体験できるような映像を作成し、病院等の待合室等で流すことにより、多くの方にニセ電話詐欺について知ってもらうことができる。また、被害者と被疑者の実際のSNSでのやりとりの画面を見せることも効果的である。

委員： ニセ電話詐欺被害については、あらゆる機会を通じて広報啓発を図るべきである。

警察： 巡回連絡をはじめ、あらゆる機会を通じて広報啓発に取り組んでいるところで、現在管内事業所の朝礼でニセ電話詐欺に関する講話の実施や固定電話の国際電話不取扱受付の代行を行っている。

委員： 各町のコミュニティセンターでコミュニティだよりを作成しているので、警察から記事の提供があれば掲載することができるので活用してはどうか。

6 公安委員会講評

本日は、伊万里警察署協議会に参加させていただき、誠にありがとうございます。協議の中で会員の皆様が生活者目線、市民目線でそれぞれ発言をされ、活発な議論をされたおかげで、皆様自身にも発見がおりだったことと思いますし、非常に意味のある協議会であったと感じたところです。

前回の諮問に対する答申は、重大交通事故をいかになくすかというものでしたが、その答申に対し、警察署が行動し、会員の皆様とともに取り組んだ結果が、現時点で人身事故件数、死者数、負傷者数が全てマイナスという結果に現れていると感じているところです。

今後、この協議会を通じまして、さらに伊万里・有田が良くなるように取り組んでいただきたいと思います。警察署の皆様におかれましては、住民の皆様の期待を力に変えて、さらに安全な伊万里・有田になるよう、職務に取り組んでいただければと思います。本日はありがとうございました。

7 その他

次回は、令和8年2月に開催予定

8 閉会